



SASEBO WEEKLY

2006～2007年度テーマ **LEAD THE WAY** 率先しよう 2006～2007年度 R.I.会長 **ウィリアム・ビル・ボイド**

佐世保ロータリークラブ 会長●中島 祥一 幹事●富永 雅弘
事務所●佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場●佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

平成 18 年 7 月 26 日

第 2,755 回例会

NO 4

《本日》会員数 80 名(出席免除会員 20 名)・出席 47 名・免除者出席 11 名・欠席 22 名・ビジター 3 名・出席率 78.33 %

《前々回》会員数 80 名(出席免除会員 20 名)・出席 49 名・メイクアップ 11 名 修正出席率 100.00 %

会長挨拶

会長 中島 祥一 君

ようやく梅雨が上がったような天気になり、それとともにまたガソリンが値上がりしました。何処まで値上がりするのでしょうか。日本は99.7%が輸入に頼っています。1973年、1978年のオイルショックでは、店頭からトイレトペーパーがなくなりました。今度は何がなくなるのでしょうか。ちなみに本日のドバイ原油は1バレル \$ 69.55、第1次オイルショックの時の3倍です。採油可能年数40年～70年の化石燃料ですので、節約をお願いします。

先日、昭和天皇が靖国神社への(1978年)A級戦犯(14名)合祀に不快感を示され、以来靖国参拝をやめられたという驚きの報道がありました。政府関係者の対応を見守りたいと思います。

また、女性にロータリアンを解放したとたん、ロータリーの文献の中のHeやManという単語が差別用語とされました。He profits most serves best. のHeがTheyにおきかえられました。

例会記録

○ビジター

佐世保北RC 井上 雅弘 君
佐世保中央RC 野村 和義 君

○ゲスト

佐世保ロータリーアクトクラブ OB
大神 吉史 君

幹事報告

幹事 富永 雅弘 君

1. 国際ロータリー

財団管理業務マネージャー シモーヌ・ウェブ 君

①大口寄付者へダイヤモンド形襟ピンの伝達

福田 金治 会員、溝口 孝元 会員



代理で受け取る、溝口尚則 会員

②ROTARY WORLD 2006年7月号

2. ローター日本事務局 経理室
ロータリーレート変更のお知らせ
8月1日より 1ドル114円(現行110円)

3. 第2740地区 地区幹事 吉田 正和 君
「クラブ月報」の様式変更のお知らせと地区協議会記録誌の送付について

4. 地区国際青少年交換委員長
瀬戸口 智彦 君

2007～2008年度国際青少年交換学生(派遣)の募集について
募集締め切りを再度延長 7月31日まで
地区募集人数5名、現在2名応募

5. 台南ロータリークラブ 会長 李 建男 君
元会長 加納 信夫様へお悔やみ

6. 佐世保学園 園長 福元 俊一 様
第56回社会を明るくする運動の一環「意見発表会」出席のお礼状

委員会報告

■佐世保ローターアクトクラブ
OB 大神 吉史 君

2006～2007年度 佐世保ローターアクトクラブならびに長崎国際大学ローターアクトクラブ合同役員交代式のご案内と会員増強のお願い

日時/平成18年7月30日(日)

登録開始 12:00～

点 鐘 12:30～(役員交代式)

懇 親 会 13:00～14:30

場所/セントラルホテル佐世保

上京町3-2 TEL 0956-25-0511

登録料/7,000円



慶 祝

親睦活動委員会 山本 聡 君

○結婚記念月のお祝い

溝口 尚則・圭子様ご夫妻 (29日)

(2)

ニコニコボックス

親睦活動委員会 副委員長 有蘭 良太 君

佐世保中央RC 野村 和義 君

3週連続でお邪魔させて頂きました。ありがとうございました。宜しければ皆様方も中央RCにお越しください。セントラルホテルの食事もおいしいですよ。

富永 雅弘 君、円田 浩司 君

佐世保中央RC 野村和義さんの今年度3回目(3週連続です)のご来訪を歓迎します。当クラブでは、他クラブからの移籍も大歓迎しますので、もしよろしければご検討ください。来週も是非ご訪問ください。

山縣 義道 君

今日は卓話を致します。面白くもない話でお耳をかがします。

中島 祥一 会長、安部 直樹 君

梅村 良輔 君、石井 正剛 君

高田 俊夫 君

直前親分の卓話を楽しみに参りました。今後共よろしくご指導くださいませ。

溝口 尚則 君

結婚記念月のお祝いありがとうございます。

ニコニコボックス

本日合計 11,000円

累 計 110,000円

委員会タイム

親睦活動委員会

委員長 高田 俊夫 君

歌の時間「夏は来ぬ」合唱



卓 話

『ロータリー雑感』

佐世保RC 直前会長
山縣 義道 君



私は野球のピッチャーでいえばカーブを投げられない直球投手で、余裕がありません。だから例会ホームクラブ出席100%となりました。例会はロータリーにおいて最重要な行事です。私は例会を如何に開催するかに腐心しました。プログラムをプリントして出席者に配ることで、今日の例会の内容を出席者が予め知ることができます。これは、横須賀クラブでメークアップしたとき、実施されていたのを見て、平成8年、武井会長の時、私が幹事だったので採用したのが初めです。

またロータリー3分間情報を毎週実施するようにお願いしました。毎月2回、私が原稿を書きましたが、資料は手続要覧、インターネット、RIが出している資料、ロータリー文庫など豊富にあります。渡した原稿を唯読むだけではありません。やはり、前もって読み、発表すれば当事者はその内容について知ることになります。毎週3分間情報を実施するのは、初めてではありません。以前は毎週実施していたのです。

例会がはじまったら最初はすぐに来訪者の紹介をはじめていましたが、慣れてくると皆さんが着席して静かになるのを待って始めるように心がけました。

例会で私語があるとSAAが気を使います。これは佐世保クラブの雰囲気でしょうが、私の経験では、東京クラブ、長崎クラブは大変静かでした。特に長崎クラブは例会の3分前から皆が静かに点鐘を待っています。佐世保クラブには私語について一つの要素があります。それは、会場の天井が低いために、その

近くの人だけでなく、話し声が全員に雑音として聞こえるので、ざわざわとした雰囲気になります。人が発言しているときは、その発言している人の話を聞くというエチケットを守れば、私語はしないということになります。

55代会長を務めさせていただきましたので、創立55周年記念式典を挙げる幸運に恵まれました。皆様のおかげで無事盛会裏に終わることができました。

第12回ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」の実行委員会を担当いたしました。あまり内容についてご存知ないと思いますので少し説明いたします。ガバナー、パストガバナーで構成されている、ガバナー会があります。このガバナー会には日本の会員全員が一人半期に100円を負担しています。しかしガバナー会の組織についてはRIの規定の中にはありません。あくまでも任意で作られた組織です。このガバナー会の中にガバナー、パストガバナーで構成されている青少年交換委員会があります。青少年交換についての問題を研究しています。これとは別にガバナー、パストガバナーが集まって、ロータリーやロータリー財団の事を研修するロータリー研究会があります。これはRIのゾーン単位で開催されていて、ガバナー会の研究会とは別です。

青少年交換プログラムには次のような特徴があります。1. 対象が青少年という未成年者であること。2. 相手が外国であること。3. 地区と地区の交換であること。4. 費用がかかること等があります。期間については殆ど長期の1年プログラムを実施しています。学校には行かない短期の交換もありますが、長期についてお話しします。

交換は外国へ行く、または外国から来ることです。相手国との文化、習慣、言葉、学校の制度等が異なります。そこに色々なトラブルが起きます。派遣学生の募集については2740地区では学校に対して募集をしていますが、以前はクラブに対して募集をしていた

ことがあります。派遣学生が負担する費用は旅費、お小遣い、滞在中の旅行費用等で、滞在についての費用、学費等は受け入れ先が負担します。受け入れたクラブは佐世保クラブを例にとると80万円程かかります。これは会員に負担してもらおう分とクラブが負担するのが半々位になります。滞在は家族の一員としてホストファミリーにお世話いただきますが、ホストファミリーを引き受けてくれる家庭を探すのに担当者は苦勞いたします。日本ではお客様扱いをしがちです。しかしあくまでも家族の一員として迎えることになっています。風呂の入り方が違いますが、これは説明するとあまり問題がなく従ってくれます。今はシャワーがありますので、シャワーで済ませることが多いようです。問題なのは食事です。何でも日本食を出してトライさせます。何が苦手か聞くとだいたい納豆、刺身、目がついた魚、いわゆる尾頭付き、を挙げます。今回メキシコから来たマリアは辛いものが好きで、何にでもチリソースをかけていました。また、ご飯に醤油をかけて食べていたのは驚きでした。

派遣学生を募集し、面接後採用を決定したら行くまでに数回オリエンテーションに出席させ、青少年交換について説明をします。来日学生にオリエンテーションを受けて来たかと聞くと殆どが受けていないようです。オリエンテーションでは、青少年交換は親善大使としての役割、生活習慣、派遣国を希望できないこと、してはいけない、4Dについて説明します。4Dとは、DRINKアルコール、喫煙、DRIVE車等乗り物を運転。DATE恋愛。DRUG麻薬等の薬物です。勿論犯罪は論外です。しかし数年前、万引きで捕まった子供がいました。法律や規則を守らないと早期に強制送還となります。早期に帰国するには来てから私は日本を希望していなかったと言って帰るのもいますし、またホームシックになって帰るのもいます。言葉については、日本

語圏は日本だけです。来日学生は日本語を勉強して来るのもいますが、来た時はほとんど喋れません。3ヵ月経てば言葉は憶えて不自由なくなりますし、帰る時は佐世保弁を喋るようになり、言葉について問題はありません。

以上のように地区の委員会の中でも青少年交換は色々の問題がありますので、全国の地区委員長が集まってお互いの問題を解決する事にしています。

今回第12回ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」で討議された大きな問題は「虐待とハラスメント」です。国際ロータリーが「虐待とハラスメント」で提訴されて、敗訴し、相当の賠償金を支払わされたことに起因します。性的虐待とは、学生に対して間接又は直接に性的な行動を及ぼすこと、あるいは学生が単独又は同性・異性および年齢を問わず、他の人との間接または直接的な性行動に及ぶことを強制あるいは奨励、教唆すること。また直接身体に触れることのない侮辱行為、公然わいせつ、学生に性的資料あるいはポルノ類を見せること。性的ハラスメントとは、性的な誘いかけ、性的行為の要求、あるいは性的な性格を持つ口頭または身体的言動を指す。時に性的ハラスメントは性的虐待へと発展し、性的犯罪者が被害者の感覚をにぶらせたり、手なずける手法として用いられる場合があります。また、性的な誘いかけ、性的な言葉、冗談、性的言動に関連する書面あるいは口頭による言及、個人の性生活に関する噂話、個人の性的活動、欠陥、能力に関する言及。性的な性質をもつ言葉の虐待、性的な示唆を含む物、写真、絵などの提示、性的な示唆を含む目線や口笛、衣服についているごみを払い落としたり、触るなどの不適切な身体的行動、卑猥な言葉または身振り、手振り、及び性的示唆に富む侮辱を含む言葉などと例示されていますが、今述べただけではありません。

対象となる学生は成年に達しているか否か

を問わず、ロータリー青少年交換に関わる児童および青少年であり、その相手となる人をボランティアと総称しますが、ボランティアは青少年交換の活動で、学生と直接接触を持つすべての成人を指します。具体的には、学生のための活動や遠出において学生の世話をしたり、学生を行事や催事まで車で送迎をする可能性のあるクラブや地区の青少年交換役員、委員会委員、ロータリアン顧問、ロータリアンまたはロータリアンでない人々、その配偶者やパートナー、ホストファミリーや受け入れ家庭に同居するその他の成人を含むとされています。ボランティアには「虐待とハラスメント」について周知徹底をし、犯罪歴がないこと、誓約書を提出させる。ガバナーは指針に従うことの誓約書を提出しなければ地区の青少年交換は認めない。事故が起きたときは国際ロータリーと捜査当局に早急に報告しなければならない。このような非常に過酷な条件を国際ロータリーは要求しました。日本の青少年交換委員会はこのような条件では青少年交換はできないということで、ハウステンボスにおいてガバナー会の青少年交換委員会を開催し、日本独自の指針を作り上げ、国際ロータリーと掛け合いました。その結果、地区に危機管理委員会を設置することを条件に、長崎会議での決定を国際ロータリーは仮認定し、日本は今のまま継続できるようになりました。「虐待とハラスメント」は青少年交換独自の問題ではなくインターアクト、ローターアクト、ライラなど新世代に関し対処しなければならない問題です。

このような深刻なことをお話しますと青少年交換は面倒だと思われたかもしれませんが、マリアは160日私の家にホームステイしましたが、一緒に楽しい日々を過ごすことができましたし、会員の皆さんの中にも子供さんをロータリーの交換学生として、海外で1年間過ごして見違えるほどたくましく、成長された経験をお持ちだと思います。私の娘も1

年間の留学から帰ってきたときは、大きく成長しており、留学が娘のその後の方向づけとなりました。

長崎会議での関場パストガバナーの基調講演でも青少年交換の素晴らしさをお話されました。昨年の東京会議でも交換学生がパネルディスカッションで一旦帰国して、成人になって再来日し、日本で仕事をしていることを報告しています。2005～06年度の国際ロータリー会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマーは国際協議会で、会長エレクトとしての講演で「私にも夢があります。私の夢は、すべての17歳の青少年が交換学生となることです。世界でこれが実現したなら、この世から戦争が消えてなくなるでしょう。重ねて申しあげますが、このような目標は私たち自身だけでは達成することができませんが、同じ目標に向けて青少年活動に取り組んでいる他の組織が数多く存在しています。ロータリー青少年交換プログラムを拡大して、巨大なジグソーパズルの中の私たちの一片をできるだけ大きくしようではありませんか。今日、8,000人の青少年交換が行われていますが、ロータリー・クラブは31,000以上あります。2005～06年度中に、皆さんの地区の各クラブが青少年交換プログラムに取り組むよう激励してくださることをお願いしたいと思います」と述べられています。

ロータリーの活動は少数のクラブ、少数の会員で実施されることが多くあります。青少年交換を例にとると、地区で青少年交換プログラムを実施するクラブは、クラブの規模に問題があり、限られています。またクラブにおいて、ホストファミリーを引き受ける会員は特定の会員であり、ごく少数の会員です。ロータリー財団寄付についても寄付をする会員は、同じ会員が何回も寄付してマルチプル・ポール・ハリス・フェローとなっています。WCSについても、WCSに取り組んでいるクラブはごく少数であり、佐世保クラブにも委

員会は設置されていますが、私が知っている限りではマッチング・グラントの経験がありません。

ロータリーは担当者だけ、特に委員長だけで委員会メンバー全員とかクラブメンバー全員で奉仕をすることがほとんどありません。

職業奉仕は他の団体では見られないロータリーの大きな特長です。職業奉仕は職業を通じて奉仕をする事です。しかし最初は違っていました。シカゴ・クラブではクラブ内でどれだけ会員相互で取り引きをしたかをチェックすることでした。ロータリーができて間もなく早い時期にシカゴ・クラブは公衆便所を設置しました。このとき、店のトイレを利用しなくなるので、店に客が来なくなるという反対があったのです。これは個人がしたことではなく、クラブで設置したのでこの時からロータリーは We serve をやっていました。職業奉仕があるからロータリーは I serve であるが、社会奉仕や国際奉仕はクラブや地区単位で行うので We serve と思っていましたが、卓話の準備で手続要覧を読み直ししました。私の認識不足でありました。社会奉仕については「社会奉仕に関する声明」、国際奉仕については「個々のロータリアンの責務」について記述があり、勿論社会奉仕、国際奉仕をクラブや地区で行うこともあります。ロータリアン一人ひとりが奉仕することもあります。まだまだ勉強不足です。

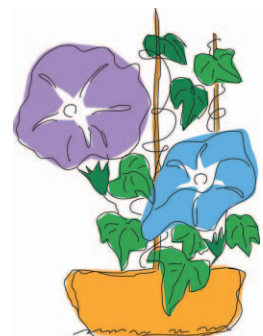
振り返りますと、親和銀行の頭取であった犬塚時夫さんが会長の時、副会長をパスト会長であった高橋章文さんが副会長に、元幹事の江口才二さんが幹事をされましたが、私はその時副幹事を務めました。また武井会長の時幹事を、武井ガバナーの時地区幹事をそれぞれ務めました。これらのことを今は亡き

パスト会長が、その都度私を推して下さっていました。私は7月1日パスト会長宅にお伺いし、お参りして1年間無事に会長を務めたことをご報告いたしました。

終わりに当たってこの1年会員の皆様のご協力により、年間予定行事を終わることができましたし、創立55周年記念式典、ふって湧いた第12回ロータリー青少年交換研究会「長崎会議」のホストクラブの務めも無事終わることができました。本当にどうも有り難うございました。

次週例会予告

卓話 会員 三浦桂一郎 君



(今週の担当 長富 正博)

クラブ会報委員会

委員長 古賀 巖
副委員長 隈元 勝則

委員 小川 洋・長富 正博
松尾 文隆・町 孝